

建交労 ひかい

2019年4月号

発行: 建交労 No.178

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五丁目4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす



裁判所前での宣伝行動する原告団と支援者

神岡裁判 原告本人尋問

「じん肺の辛さままさまざと！」

3月18日、岐阜地方裁判

所301号法廷で神岡じん肺

2陣訴訟の第19回弁論が開

かれました。原告 川上晋さ

ん、福田信男さん、遺族原告

竹中美恵子さんの3名がじ

ん肺被害について証言しまし

た。

咳・痰・息苦しさを辛さを

せつせつと証言

「酷い咳が5分〜10分程

度続くこともある。全身で咳

きこむ感じ」「息苦しくて睡

眠障害になり薬を服用」「真つ

赤になってきばるように咳き

こむ」など、苦しい療養の様

子を証言しました。

夫の遺志で剖検を!

竹中さんは、「裁判のこと

を話していた時、じん肺にか

かっているってわからないの

かなあ、と夫に言ったら、夫

は、自分は絶対にじん肺にか

かっているからもしものこと

があったら解剖してほしい、

と言っていたので、夫の意志

を継ごうと、解剖をお願いし

た」と苦しい決断をしたこと

を涙ながらに伝えました。

被告はじん肺被害に向き合

え!

被告は、原告はじん肺ではな

いなどと不当な主張を行って

います。しかし、原告本人尋

問で、神岡鉦山のじん肺被害

の悲惨さはさらに明確にされ

ました。

一日も早い解決がなされる

べきです。



大阪で振動工具を体験

3月22日、大阪府で全日本民主医療機関連合会(民医連)による『第39回民医連の医療と研修を考える医学生をつどい』がありました。これは医学生達が振動工具を体験、振動病の人達と交流することによ

り、深く振動病について知るための交流会です。その学習交流会に建交労も出席し、岐阜県からは畑中が参加しました。

重く強い振動

会話も困難な大きな音

当日は削岩機、チェーン

ソーなどの様々な振動工具が用意されていました。怪我の無いよう指導を受けながらコンクリートを砕いたり、金属パイプや木を切断したりしました。

工具でコンクリートを砕く際、力を入れて持つっていると振動で少しずつ痛くなりました。これを長時間続けるのは相当大変なことで

あると実感しました。

また、音を測る装置を使い、実際に使った工具の音がどれほど大きいか調べました。工具近くで100dbを超え、離れた場所でも85dbを超えました。騒音が85db以上である業務が騒音性難聴の認定基準となるので、職場でこういった大きい音の出る工具を使っていたら騒音性難聴を発症する危険があります。

振動病の方4名が見えませんでした。全員が肩に手がつかず、両肘を付けるといったこともできないというのを見せてくれました。振動病による運動機能の障害がまさに目に見えてわかりました。

また、手がしびれて動かしくくなり、そして痛むと苦勞を切々と語っていました。

した。

今回、実際に体験して振動、騒音に短時間さらされただけでも手や耳に違和感を覚えられました。しかし、実際の労働では比べ物にならないほど長時間使用します。そのため違和感ではなく苦痛として離職後も残っています。今回、それを実感できる貴重な経験となりました。

(畑中)



振動工具の使い方のレクチャーを受ける様子



コンクリートを砕き音の大きさを測る様子

続々と集まる賛同署名!

みてみて聞いて

(その15)

神岡鉦山じん肺訴訟は、4月、5月に藤井先生、河端先生の証人尋問が予定されています。証拠調べが終われば結審判決です。

山場を迎え、大きく世論を広げようと原告団では地元、自治体議員の賛同署名に取組んでいます。

開始してから一週間で高

山市議会議員、24名中8名の方が賛同署名を寄せられました。

4月からは、同様の署名を飛騨市議員の皆様にもお願いします。

多くの賛同署名を集め、勝利解決へつないでいきましょう。

神岡鉦山じん肺裁判 早期解決を求める賛同署名

神岡鉦山で働いた元労働者は、じん肺に罹患し、死への恐怖を背ながら療養を余儀なくされています。

一日も早い被災者の救済とじん肺被害根絶のために、神岡鉦山じん肺裁判の早期解決を図るよう下記要請事項に賛同します。

記

- 1、神岡鉦山じん肺被害者の被害救済と十分なじん肺防止対策を図るため、三井金属鉱業に対し、神岡じん肺裁判の早期解決を要請すること。

以上

高山市長 國島 芳明 殿

高山市議会議員

三井金属神岡鉦山じん肺訴訟 闘争本部長(岐阜県本部執行委員長)の山田透さん(66)の趣味はバレーボールです。

35歳の時に奥さんに誘われ、今まで本格的にやっていなかったバレーを始めました。バレーの楽しさにすっかり魅せられ、現在まで続けているそうです。

なかなかの強豪チームであり、50〜60歳の出場するシニア大会にて岐阜の県大会で50チームの中からみごと優勝しました。そして、広島で開かれた全国大会に出場を果たすことができました。

ボールをアタックし、得点を決めることがバレーで

最もうれしい瞬間だそうです。ブロックが得意で持ち前のジャンプ力を活かし相手手を威圧し、チームに貢献しています。

そんな山田さんの目標は70歳になっても現役と変わらず活躍できるバレーをすることだそうです。



アタックを決めてハイタッチ

2019年3月の活動報告

経過

- 1日 新規労災申請について主治医面談 @前川ファミリークリニック
 5日 第5回執行委員会 @組合事務所
 7日 神岡じん肺訴訟原告団会議 @古川町中央公民館
 8日 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @岐阜合同法律事務所
 10日 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 @郡上市文化センター
 11日 新規労災申請について主治医面談 @県立多治見病院
 14日 トンネルじん肺根絶訴訟 弁護団会議 @岐阜合同法律事務所
 18日 神岡じん肺訴訟 口頭弁論 本人尋問
 22日 民医連 医学生のつどい @大阪
 24日 県本部執行委員会 @組合事務所
 26日 東濃分会 @笠原町中央公民館
 27日 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @岐阜合同法律事務所
 30日 河端医師 証人尋問について打ち合わせ @埼玉県熊谷市
 31日 びら配布 @神岡町

2019年4月の予定

予定

- 5日 第6回執行委員会 @組合事務所
 8～9日 北陸中部・北信越訴訟 合同会議 @砺波まなび交流館
 10日 全国トンネルじん肺根絶6陣訴訟第1回弁論 @福井地裁
 12日 なくせじん肺全国キャラバン第2回実行委員会 @東京都内
 15日 神岡じん肺訴訟 口頭弁論 藤井先生証人尋問 @岐阜地裁
 15～16日 全国トンネルじん肺根絶6陣訴訟
 東京地裁第1回口頭弁論及び諸行動 @衆議院会館ほか
 24～25日 全国労職部会 中間会議 @チサンホテル浜松町
 31日 神岡じん肺訴訟 ビラ配布 @神岡町

歌をうたうのも聞くのも好きだ。ほとんどの方がそうだろう。ところが、私は皆さんと大きく違うところがある。嫁1く2年生の頃、今は亡き義父が真顔で「悪いことは絶対いawan、おまえは人前では絶対うたわん方がええ」と言っ
 た。このことを夫に伝えると「そんなか、おまえは酷い音痴やもんなあ」と申し訳なさそ
 うな顔をした。「でもでも、わたしが子守唄を歌うと娘は喜んで寝るよ」「いや、気絶しとるのかもしれない」と言われ、
 絶句した。それでもこりない私は、車中など夫の前だけで歌う。「ぼくさん、かんざしく、えつとなんやったけ」堪りかねた夫が「南国く土佐をうたうにして」と歌う。
 うちの組合員さんほとんども歌が上手な人が多い。まさにとりする。聞いているとうつかり、ちえ、なんでわたしばつ
 (編集委員 兼山)

編集後記